



臨床シミュレーションセンターで行われた活動を報告します

ハンズオンセミナー

11月12日() 「Difficult Airwayを学ぶその前に
～短い研修期間を有効活用するための Tips～」 講師：救急科/麻酔科
鈴木 昭広 先生

研修医向けセミナー

10月22日 「救急外来/一般外来の高齢者診察の注意点」 講師：救急科/第二外科
11月19日 「ステロイド使用の基礎知識」 松坂 俊 先生
12月10日 「病棟予測指示の正しい使い方①」
12月17日 「病棟予測指示の正しい使い方②」
1月16日 「外来での発熱の診察」
1月30日 「入院での発熱の診察」
2月6日 「発熱Case Studies」

セミナーのお知らせ

2月、3月に予定しているセミナーのお知らせです。参加は対象者が優先となりますが、ご希望の方はどなたでも受付しておりますので、事前に臨床シミュレーションセンターまでメールでお申込み下さい。お申込みの際には、参加・見学を希望するセミナーと所属氏名、連絡先の記載をお願いいたします。

【ハンズオンセミナー】

テーマ：PICC 挿入シミュレーション研修
～PICC(末梢静脈挿入型中心静脈カテーテル)グローションカテーテルの特徴～

講師：札幌心臓血管クリニック 麻酔科
五十嵐 浩太郎 先生
麻酔科
黒澤 温 先生

日時：2月13日(木) 18:00～19:10

対象：初期研修医

定員：6名

内容：PICC 挿入についての講義
シミュレータを用いたPICC挿入の実技演習

【シミュレーション教育体験セミナー】

テーマ：高機能患者シミュレータHPSを活用したシミュレーション教育の体験

講師：杏林大学医学部付属病院
急性・重症患者看護専門看護師
齊藤 大輔 先生

日時：3月5日(水) 17:30～19:30

対象：看護師、看護学科教員

定員：15名

内容：急変時対応のシミュレーションを体験する。
*現場に活かすために必要なシミュレーション教育についてのエッセンスや、どのようにしてファシリテーターが機能していくべきかなどの解説付きです。

シミュレータの紹介

臨床シミュレーションセンターのシミュレータの最新情報をご紹介します。

新しいシミュレータ

点滴静注シミュレータ“Vライン”(京都科学)

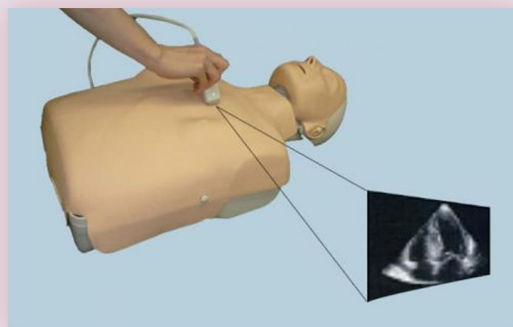
- ・Vラインは、静脈留置針を使用した末梢静脈路確保手技の流れやポイントを実習できます。
- ・2か所の部位(手背静脈と前腕正中静脈)での実習ができます。
- ・皮膚パッド部がゲル状素材なので、静脈ルート留置時の皮膚の進展や静脈の圧迫操作が可能です(これまでCSCで取り扱っているシミュレータでは行えなかった操作です)。



修理・点検が完了したシミュレータ

経胸壁心エコー教育シミュレータ

- CardioHRS TTE(日本ライトサービス)
- ・・・プローブセンサーの感度が改善されました。



高機能患者シミュレータ HPS(アイ・エム・アイ)

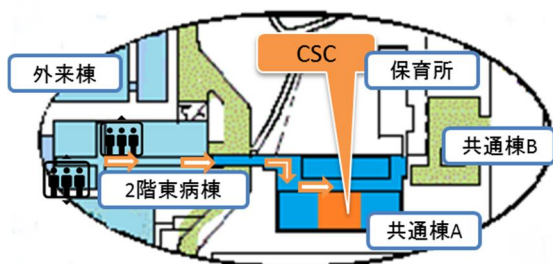
- ・・・瞳孔左右不同時のトラブル、聴診音、CVP値の表示が改善されました。

現在、修理・点検中のシミュレータ

経食道心エコー教育シミュレータ

- CardioHRS TEE(日本ライトサービス)

臨床シミュレーションセンターで取り扱っている各種シミュレータの紹介は、独自ホームページ(画面左下 臨床シミュレーションセンターWiki)に掲載しておりましたが、現在サーバ不調のため閲覧できない状態です。シミュレータについてのお問合せは、直接臨床シミュレーションセンターまでお願いします。



【お問合せ先】

旭川医科大学 臨床シミュレーションセンター

連絡先 : 内線 2860 PHS : 7580

E-mail : skillslab@asahikawa-med.ac.jp

担当 : 萩田

スタッフ常駐時間 : 平日 8:30~17:30

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/simu/AMUSIMU/index.html>